

平成22年度 施政方針



平成22年度の所信表明と今年度予算の概要をご説明申し上げ、町政へのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

日本経済は一昨年以降の世界同時不況による経済危機から徐々に立ち直りつつあるものの、依然として厳しい状況が続いております。

また、昨年実施された衆議院議員選挙において、民主党が歴史的な大勝を収め、政権与党となり、予算編成等の意思決定の仕組みが今までとは全く違う手法に変わり、今年度は新政権による初の予算編成となりました。

このような中、新政権が最重要施策として掲げた『地域主権』の確立に向けた動きが今年から本格化し、その行方を注目しているところでございます。

さて私は昨年執行されました大崎町長選挙におきまして町民の皆様の負託を受け、第3期目の重責を担うこととなりました。これまでの町長としての経験を通じて「人は地域の大切な財産であり、歴史・文化や産業発展の原動力である」と強く感じたところでございます。そこで意欲ある各年代層の意見を掘り起こし、議論を重ねながら『ひと・もの・自然、調和が奏でる躍動のまち』づくりに向け、また新たな気持ちで将来につながる施策を着実に実行していくことが必要なことであると考えております。

また市町村合併問題につきましても、本町の最重要課題のひとつとして認識しており、今後とも引き続き努力してまいりたいと考えております。

このような考えで編成いたしました一般会計当初予算額は、57億8,017万7千円で前年度比11・0%の減となっております。

農林振興課関係

【農業振興センター】

農業経営体の育成と維持発展のため大崎町農業振興センターを中心に支援体制の充実を図る。

【水田農業関係】

米の生産調整を図りながら、水田の有効活用による食料自給率向上に努め、安全安心な水田農業の実現に努める。

また、災害に強く特色ある米づくりを目指し、実証ほ場を設けて食味向上などの栽培技術の確立に努める。

【食育関係】

食育・食農体験学習会などを実施し、食の大切さについて住民への普及啓発に努める。

【宮農推進関係】

担い手育成総合支援協議会を中心として農家支援の強化を図る。

【畑かん宮農関係】

担い手農家等への土地集積などを宮農振興会と連携して展開する。

【環境保全型農業】

環境と調和のとれた環境保全型農業を引き続き推進する。

【畜産関係】

町畜産振興協議会と連携し、所得の安定を図れるよう取り組み、また優良な繁殖家畜の導入保留を進め、畜産農家の経営安定を図る。

【林業振興関係】

造林事業及び森林整備地域活動支援事業に取り組みとともに、公有林整備についても適正な管

理に努める。
松林を保護するため防除事業を実施する。

【有害鳥獣対策】

農地巡視パトロールを実施し、農作物の被害軽減を図る。

【水産振興関係】

放流事業による資源管理型漁業を推進、水産資源の維持及び保護に努め、漁業の経営安定を図る。

建設課関係

【町道整備】

神領丸尾線他5路線の町道整備を計画。

【道路維持管理】

道路法面にコンクリートを施し草木の繁茂を防止する、いわゆる『メンテナンスフリー化』を実施し、今後の維持管理の労力軽減を図る。

【橋梁関係】

長寿命化を図るための詳細点検及び概略点検の実施。

【公営住宅関係】

天子ヶ丘、角堂、吹切の各住宅の改修工事を実施。

【東九州自動車道関係】

野方インターチェンジ設置実現に向け努力し要望を引き続き行う。

【国道関係】

国道220号三文字交差点付近をバリアフリー化へ事業実施予定。

【県工事関係】

地方特定道路整備事業で垂水大崎線の整備継続予定。